

共産躍進 自民大惨敗

都議選

共産党19議席

安倍自公政権の暴走政治への審判と東京都政の転換が大争点となった都議会議員選挙(定数127)が2日、投開票された。現職区でも、定数は現有17議席を上回る19議席を獲得し、躍進しました。史上初めて町田市(定数

4)で議席を獲得。得した59議席を大幅に減らし23議席、過去最低の38議席(2009年)を下回る大惨敗となりました。日本共産党の小池晃書記局長は同日、党本部で記者会見し、「安倍自公政権の憲法破壊と国政の私物化が問われるなかでの選挙で、過去最低の議席になるということは、当然、今後の国政に重大な影響を与えることになる。この間、野党が要求しているように、この結果を受け、臨時国会をただちに開会するべきだ」と強調しました。



2人区での勝利を喜ぶ原のり子さんと支援者たち(2日、東京都東久留米市)

共産党の 当選者

大山とも子氏
(新宿区)



原田暁氏
(杉並区)



和泉尚美氏
(葛飾区)



原紀子氏
(北多摩4区)



里吉ゆみ氏
(世田谷区)



斉藤真里子氏
(足立区)



井樋匡利氏
(北多摩3区)



藤田綾子氏
(大田区)



戸谷英津子氏
(練馬区)



尾崎あや子氏
(北多摩1区)



星見定子氏
(目黒区)



徳留道信氏
(板橋区)



池川友一氏
(町田市)



白石民男氏
(品川区)



曾根肇氏
(北区)



清水秀子氏
(八王子市)



畔上三和子氏
(江東区)



米倉春奈氏
(豊島区)



河野百合恵氏
(江戸川区)

